

＜辰ノ口ゼミナール＞のご案内（令和7年度）



写真：福島県いわき市常磐湯本町辰ノ口1番地

湯本砦ズリ山をバックに夕日に映える常磐炭礦(株)磐城礦業所。地上部分も大規模ですが地下には延長すると横浜まで届く斜坑、水平坑等が縦横に走り、入気・排気の風が吹く中、電車が行き交い、大型切羽、ベルトコンベヤー、ポンプ座等大規模施設が24時間稼働、辰ノ口は正に常磐炭礦(株)の1丁目1番地でした。(写真は昭和30年代)

◎基本的に全部オンライン講座

※第35回、第37回～第39回、第41回は午前は座学、午後は現地調査となります。午後の部にも参加する方は各自で昼食をご用意ください。よろしくお願いいたします。

網かけは現地巡検

■第35回 4月12日（土）10時～16時 済⇒参加者午前9名

10時～12時 座学「常磐地区の炭鉱遺産について」 会員 熊澤幹夫 増田洋輔

13時～17時 現地巡検 済⇒参加者11名 車4台で乗合せ

■第36回 5月10日（土）13時～15時 講師 早稲田大学大学院 鈴木崇広氏 済⇒14名

「石炭産業における労働者の反復移動と定着—昭和20年代の常磐炭田＜季節夫＞の縦断分析」

※講師が昨年6月8日（土）に行った「日本の石炭産業における移動労働者—常磐・宇部・筑豊の炭鉱への出稼ぎ—」の続編とも捉えられます。

尚、別件もあり講師と嶋崎先生は前日午前に来山、第一回の打合せを致し研究会も協力する事になりました。⇒6月21日（土）に第二回目の打合せを致しました。

■第37回 6月 7日（土）10時～16時 講師 以下の通り 済⇒参加者午前8名

10時～12時 座学「好間地区の炭鉱遺産について」 会員 大坊真輝

「ほるる及び平地区の産業遺産について」 会員 野木和夫

13時～16時 現地巡検（ほるるは中止、好間のみ）済⇒6名 車2台で乗合せ

■第38回 6月14日（土）10時～16時 講師 会員 笠原方明 済⇒参加者午前10名

10時～12時 座学「広野・双葉・小川・赤井地区の産業遺産について」

13時～16時 現地巡検 車2台で乗合せ 済⇒参加者8名 車2台で乗合せ

■番外編 6月28日(土) 13時～15時 講師 会員 佐藤哲哉

映画「オモニと少年」プレ上映会。佐藤哲哉会員が入手した16mmフィルム「オモニと少年」7月12日の本番上映に備えてのテスト・調整の為、実施致しました。参加者は6名。

■第39回 7月12日(土) 10時～16時 講師 会員 馬目太一 ⇒順延 予定日検討中。

10時～11時 座学「内郷地区の炭鉱遺産について」

11時～12時 映画「オモニと少年」上映会(担当 会員 佐藤哲哉)

13時～16時 現地巡検 自家用車で乗合せ

■第40回 8月09日(土) 13時～15時 講師 会員 野木和夫 済⇒6名

戦後80年「常磐炭田にあった青い目の捕虜収容所」 戦時中、常磐鹿島と古河好間の二か所にあった収容所を解説。どんな状況だったか・・・について龍田会員の資料も織り込んで解説しました。

■第41回 9月13日(土) 10時～16時 講師 会員 菊地啓正 済⇒12名

10時30分 車乗り合わせで湯本事務所出発 高萩駅前「うらじ」で昼食

13時～14時 菊地寛実記念高萩炭礦資料館見学

14時～15時 座学「北茨城・高萩地区の産業遺産について」

■第42回 10月11日(土) 講師 13時～16時 講師 講師 会員 小宅幸一

13時～14時 座学「勿来・田人・遠野地区の産業遺産について」

14時～16時 現地巡検

■第43回 11月 8日(土) 10時00分～18時30分 特別拡大講座

テーマ「(仮) 常磐炭田の伝承」

10時00分～12時「(仮) 現代の小学生と炭鉱教育」 講師 会員 佐藤哲哉
(実際教壇に立っていた佐藤会員に現状や将来についてたっぷりとお話いただきます。)

昼食・休憩(30分)

12時30分～13時30分「(仮) 常磐炭田デジタルアーカイブと炭鉱教育について」

講師 東京大学大学院 牛島百合子氏

13時30分～14時30分「(仮) 地元小中学校でのヘリテージ・ツーリズム活動」

講師 会員 熊澤幹夫 菅野昭夫(いわきHT協議会として)

コーヒープレイク(20分)

14時50分～16時00分「(仮) いわき市小中学校地域教育について」

講師 いわき市教育委員会担当の方

16時30分～17時30分「(仮) いわき市石炭・化石館の炭鉱伝承活動」

講師 いわき市石炭・化石館 渡辺文久(研究会会員)

17時30分～18時30分 質疑応答・交流会

■第44回 11月22日(土) 13時～15時 講師 会員 鈴木翔太郎

「(仮) 常磐炭田における科学と社会」

鈴木氏の研究テーマ(炭鉱以外、科学と社会の話)の紹介と、昭和47年に発行された水産試験場研究報告「選炭排水の改善処理に伴う放流河川の汚濁負荷量の変動について」の簡単な紹介。

■第45回 12月13日(土) 13時～16時(1時間延長) 講師 以下の通り(敬称略)

※全炭博研クラシック フォーラム(令和8年1月25日実施予定)のリハーサルも兼ねて、「炭鉱を知らない年代にどう炭鉱を伝えるか」を主眼とした全炭博研に備えた勉強会を検討中。

※小宅幸一 「石炭・炭鉱の時代と常磐炭田」に関する基調講演 13時～14時

続いて以下お二方の炭鉱展示や説明の工夫をお話いただく。

※渡辺秀峰 みろく沢炭鉱資料館 14時～15時

※菊地啓正 菊池寛実記念高萩炭礦資料館 15時～16時

♥ 1月10日(土) 休止 「全炭博研in常磐」開催月で休止。

■第46回 2月14日(土) 13時～18時 以下の通り「全炭博研in常磐」報告

13時～14時30分「全炭博研in常磐を主催して」いわき市石炭・化石館館長 若松貴司氏

14時30分～16時「全炭博研in常磐報告」 会員 増田洋輔

16時30分～18時頃まで 恒例の会費制による慰労会・懇親会

■第47回 3月14日(土) 13時～15時 講師 会員 高橋和幸

テーマ「(仮) 戸部炭硯(株)炭業所長のライフ・ストーリー」

講師が昨年購入した常磐湯長谷町の物件は何と戸部炭硯(株)炭業所長宅でした。又、残された荷物(前所有者からは高橋会員に全部譲渡する旨)には貴重な日記、手記、会社辞令や経歴書、図面、写真等の貴重な一次資料があり、鋭意調査中であります。戸部炭硯(株)と常磐炭硯(株)との違い、所長のライフスタイル等々興味が惹かれます。その中間報告を致します。
